



笑顔あふれる未来にむかって
南阿蘇の自然と調和した地域コミュニティの維持・再生・発展

～被災者の痛みを最大限に和らげ、笑顔あふれる未来へ向かう～
村の魅力である良好な自然や景観に配慮しながら、村民がこの村に住んで良かったと実感でき、多くの観光客が訪れ、若者が移り住みたくなる。震災前以上に「あんぜん」で「あんしん」な、地域間・世代間の「ふれあい」のある、「あたたかな」むらづくりを実現します。

■平面計画

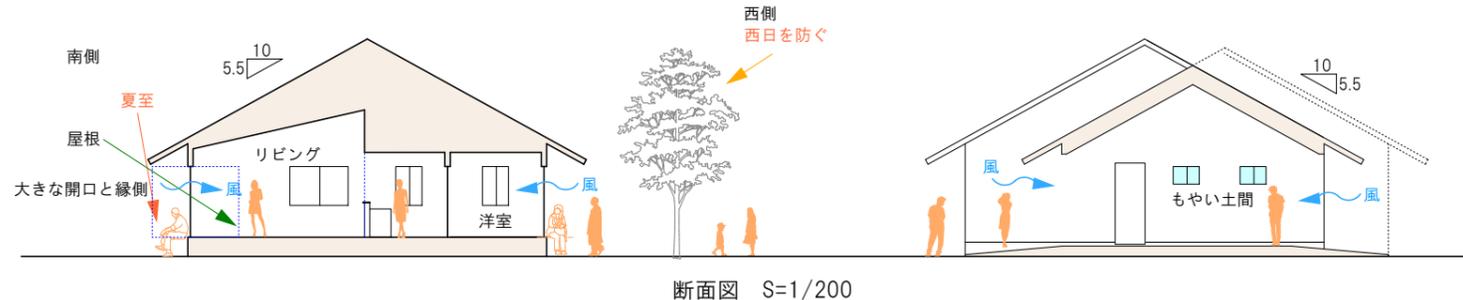
- ・ユニバーサルデザインを考慮した段差のないアプローチとします。
- ・もやい土間は住人同士のコミュニケーションの場となります。
- ・もやい土間が住戸間の音の問題を解消しつつ、駐輪スペースや外部物置スペースにもなります。
- ・子育て世代が入居できるプランは対面キッチンとし、家族間のコミュニケーションを促します。
- ・外部と緩やかに繋がる縁側を設け、さりげないコミュニケーションを促します。
- ・収納以外のドアは引戸とし、限られたスペースを有効に利用します。
- ・水廻りをコンパクトにまとめてコストダウンを図ると共に、家事の負担を軽減します。
- ・菜園を住戸の南側に設け、住民同士がふれあえる憩いの場になります。
- ・小路に面した和室側の濡れ縁（ベンチ）は、災害時に必要となる備蓄品を収納できます。また、腰掛として世間話ができるスペースになります。

■立面・断面計画

- ・県産材の板貼りの外観が安らぎと安心感を与えます。
- ・シンプルな切妻屋根の連続が、周辺の景観と調和した風景を作ります。
- ・リビングは勾配天井とし、天井には県産材を板貼にします。
- ・軒を深く出すことで、外壁の劣化を防ぎ耐久性を向上させます。

■床面積

1LDK (6戸)	48.44㎡
2DK (12戸)	53.82㎡
2LDK (20戸)	63.76㎡
3LDK (2戸)	72.45㎡
合計20棟 (40戸)	2356.58㎡



断面図 S=1/200